

大阪府下における名勝庭園についての調査研究 その3

大阪芸術大学 建築学科 教授 福原成雄

1. 研究目的

日本の庭園は、古代、飛鳥、奈良、平安、鎌倉、室町等の各時代に大陸からの庭園・建築技術や風俗習慣の影響を受けながら世界に類を見ない自然風形美を基本とする神仙庭園、寝殿造庭園、浄土庭園、枯山水庭園などの庭園形態を生み出してきた。そしてそれを発展させてきた。しかし、その庭園の殆どが社寺や宮廷の文化財庭園で、江戸時代後期から明治初期に多く作られた庭園は、未調査、未整理のままである。本研究は、大阪府下の名勝庭園（未指定）、各地の文化財庭園の保存管理状況を調査し、どのような形態、庭園手法によって作られたのか、また、その庭園が現代の庭園文化にどのように影響を与えたのかを整理し、明らかにするものである。

2. 研究方法

大阪府下の史跡及び名勝などの文化遺産（庭園など）を調査（分布・測量記録）し、本地域の史跡・名勝に対する認識を醸成する機会を創出するとともに、本地域の文化財遺産として保存活用を図るために必要な基礎的資料を収集する。また本地域の庭園の特徴を把握するために、庭園の基礎調査を継続実施するとともに、これらの庭園の保存活用を進めるための資料を整理し、その成果を公表する講演会、造園学会発表などを行う。そして、庭園が日本庭園文化に与えた影響について明らかにし、日本庭園史に民家を位置づける。主に関連する建築（登録有形文化財、未指定）・庭園の資料の収集整理、資料の考察、庭園作図を行う。幾つかの建築（登録有形文化財、未指定）、庭園の現況事例調査、大阪府下に現存する庭園実測調査を行うことにより、その類似性、時期を少しでも明らかにする。

庭園調査によって得られた情報は、今後名勝指定、登録に向けての基礎的な資料になるだけでなく、それを作成する過程の様々な研修活動によって、名勝庭園にたいする認識が醸成される。

平成30年は、5月19日に奈良県桜井市の山の辺の道、5月26日、27日に横浜山下公園・神奈川県横浜市三区の三溪園、6月16日に奈良県吉野山西行庵、8月に岸和田市五風荘庭園、9月30日に神奈川県中郡大磯町の鳴立庵・旧吉田茂邸庭園、11月2日、3日に東京都清澄庭園・根津美術館庭園・椿山荘庭園、肥後細川庭園・大隈庭園・鳩山会館庭園・旧岩崎邸庭園、12月9日に樞原神宮文華殿庭園、平成31年2月2日、3日に東京国際文化会館（旧岩崎邸庭園）・国分寺殿ヶ谷戸庭園等の現地調査、資料収集を行なった。これら調査は、復元工事の進め方、史跡の維持管理、保存活用の方法がどの様に行われているかを明らかにするものである。

3. 現地調査

1) 奈良県山の辺の道調査概要

所在地：桜井

作庭年代：古墳時代

歴史風土特別保存地区 東海自然歩道 5月19日調査

山の辺の道は、桜井から天理までの山裾を通る大和の古道で日本最古の道である。

巻向駅から三輪駅までの桧原神社、玄賓庵、月山記念館、狭井神社、大神神社、三輪山等の史跡維持管理状況、歩道、案内板等の整備状況を調査した。

2) 神奈川県三溪園現況調査概要

所在地：神奈川県横浜

作庭年代：明治39年（1906）公開

作庭者：原富太郎 庭園様式：池泉庭園 国指定名勝

製糸貿易で財を築いた実業家原三溪（富太郎）によって明治39年（1906）に造園され外縁部分が一般公開された。

庭園面積175,000m²の園内には京都、鎌倉から移築された建物が適所に配置されている。庭園は明治35年（1902）頃か

ら造成が始められ、大正3年（1914）に外苑、大正11年（1922）に内苑が完成した。庭園の管理運営状況を調査した。

3) 吉野山西行庵調査概要

所在地：奈良県吉野郡吉野町吉野山

作庭年代：不明

作庭者：不明 庭園様式：

西行法師（1118年～1190年）が何度も吉野山を訪れ、三年間わび住まいをしたと伝えられる。史跡の管理状態を調査した。

4) 大阪府岸和田市五風荘庭園現況調査

所在地：岸和田市岸城町18-1

作庭年代：明治17年（1884）～ 岸和田市指定名勝
作庭者：庭園様式：池泉回遊式庭園 面積は8,000 m²

岸和田城南東に、江戸後期、岸和田藩主岡部氏の新御茶屋、葉草園だったものを旧寺田財閥当主で、岸和田市長を務めた寺田利吉の別邸として昭和4年（1929）から10年の歳月をかけて建物、庭園が整備された。文化財の保存指定のあり方を研究する事例である。

5) 大磯旧吉田茂邸庭園現況調査

所在地：神奈川県中郡大磯町西小磯

作庭年代：昭和初期

建築：吉田五十八

作庭者：中島健 庭園様式：池泉回遊式庭園 面積：m²
庭園：昭和36年（1961）完成

戦後の内閣総理大臣吉田茂（1878-1967）が住んでいた邸宅、2009年火災により焼失したが2017年4月に再建された。再建後の保存管理の状況を調査した。

6) 東京都清澄庭園現況調査

所在地：東京都江東区清澄三丁目

作庭年代：明治24年（1891）庭園完成

作庭者：不明 庭園様式：回遊式林泉庭園 東京都指定名勝

江戸時代の大名屋敷跡が三菱財閥岩崎弥之助によって庭園が整備された。現在は東京都が所有している。文化財庭園の変遷、管理状況を調査した。

7) 東京都根津美術館庭園現況調査

所在地：東京都南青山6丁目

作庭年代：昭和15年（1940）創立

作庭者：不明 庭園様式：池泉庭園 未指定

東武鉄道創始者、根津嘉一郎によって創立、開館された。大名屋敷跡を嘉一郎が造園をした。未指定の文化財庭園の変遷、管理状況を調査した。

8) 東京都大隈庭園等の現況調査

所在地：東京都新宿区戸塚町1丁目104

作庭年代：明治20年（1945）

作庭者：佐々木可村 庭園様式：池泉庭園 未指定

江戸時代の大名屋敷跡が大隈重信によって改変された。

未指定の文化財庭園の変遷、管理状況を調査した。

8) 奈良県橿原神宮文華殿現況調査

所在地：奈良県橿原市久米町934

作庭年代：昭和48年（1973）

作庭者：森 蘊 庭園様式：枯山水庭園 未指定

文華殿は江戸時代末期に建てられた旧柳本藩の表向御殿が昭和42年に現在の場所に移築され、庭園が作庭された。

未指定の文化財庭園の変遷、管理状況を調査した。

10) 東京都国際文化会館庭園（旧岩崎邸）等の現況調査

所在地：東京都港区六本木5-11-16

作庭年代：昭和5年（1930）公開

作庭者：小川治兵衛 庭園様式：池泉庭園 港区指定名勝

江戸時代の大名屋敷跡が三菱財閥4代目岩崎小弥太によって整備された。文化財庭園の変遷、管理状況を調査した。